

## 「マタイ12章」

### イントロ:

1. 文脈を確認してみよう。
  - (1) イエスの公生涯を富士登山にたとえてみる。
    - ①富士宮口(洗礼)
    - ②御殿場口(十字架)
  - (2) 12使徒の派遣と伝道の広がり 5合目～7合目くらいの感じ。
  - (3) きょうの箇所は、8合目、9合目、頂上、そして、9合目、8合目
2. 頂上の出来事は、分水嶺
  - (1) イエスの公生涯の方針が激変する。
  - (2) イスラエルの運命が激変する。
  - (3) 私たちの人生が激変する。
3. 日本の現状 9合目から頂上に向かっている。
  - (1) 2008年への期待
  - (2) よき弟子とならせていただく

マタイ12章は、世界の歴史の分水嶺である。

### I. 安息日論争(審問の段階) (8合目)

1. 麦の穂を摘む
  - (1) 麦の穂を摘むことは罪ではない。  
(例話)ヨッシーさんとオレンジ畑
  - (2) 安息日にそれを行ったことが問題。
  - (3) 安息日に関して約1,500の細則。口伝律法(ミシュナ)は、モーセから。
  - (4) 4つの罪(収穫、脱穀、ふるい分け、貯蔵)。
  - (5) イエスの回答
    - ①ダビデの例(Iサムエル21:3～6)
    - ②レビ人が非レビ人にパンを与えるのは違反(口伝律法)
    - ③モーセの律法は、それを禁じていない。
    - ④安息日でも神殿では労働があった。
    - ⑤「宮よりも大きな者」:イエスによるメシア宣言
    - ⑥ホセア6:6の引用。憐れみに富んだ神。  
(例話)「紳士たれ」

## 2. 片手のなえた人

- (1) 安息日に人を癒すことは、律法違反。
- (2) 生死にかかわる場合は、癒してもいいが、この人の場合はそれに該当しない。
- (3) イエスを訴える口実を見つけようとしていた。
- (4) イエスの回答
  - ①小から大への論証:ラビ的教授法
  - ②羊よりも人間の方が大切
  - ③愛の実行
- (5) パリサイ人たちの反応
  - ①怒り
  - ②殺意
  - ③イエスがパリサイ人の権威を否定したため  
(例話)いじめに会っている部下は、どのように仕返しをするか。

## II. 主のしもべの預言の成就 (9合目)

1. イエスの後を追う人々
  - (1) 彼らをみな癒した。
2. イザヤ42章のメシア預言の成就(マタイはユダヤ人のために書いている)。
  - (1) 聖霊に満たされた方
  - (2) 謙遜を身に付けた平和の君
  - (3) 憐れみと忍耐に富んだ方
  - (4) 異邦人の光

## III. ベルゼブル論争 (頂上)

1. 口のきけない人から悪霊を追い出した。メシアにしかできない奇蹟。
2. 群衆の反応:「ダビデの子なのだろうか」=「メシアなのだろうか」
3. パリサイ人たちの判断
  - (1) イエスをメシアとして認めるか、認めないか。
  - (2) 認めなかった。
  - (3) その理由は、「悪霊どものかしらベルゼブル」につかれている。
  - (4) これが、ユダヤ人たちがイエスを拒否する公式の理由となった。
    - ①タルムードは、イエスは魔術によって人々を惑わせたという。
    - ②イエスが奇蹟を行ったことは否定していない。(例話)ユダヤ人のリーダーコンプレックス

#### 4. イエスの答え

- (1) 内部分裂すれば、悪の国も立ち行かなくなる。
- (2) 神学的矛盾: 自分たちは神の力によって悪霊を追い出していると言いながら…。
- (3) 神の国はすでに到来している。メシア宣言。
- (4) メシアはサタンよりも強い。

#### 5. 赦されない罪

- (1) 恐怖を与える聖句である。
- (2) これは、当時のユダヤ人だけが犯すことのできる罪。「今の時代の人々」
- (3) これは、民族的な罪。
- (4) これは、後の時代のユダヤ人に適用すべきではない。
- (5) 個人は、いつの時代でも、十字架の贖いによって赦される。告白と信仰。
- (6) 罪の結果
  - ①ユダヤ人に提供されていた天の御国は取り去られた。
  - ②再度提供されるのは、患難時代のユダヤ人(マタイ24~25章)。
  - ③紀元70年のエルサレムと神殿の崩壊

### IV. ヨナのしるし (9合目)

1. より多くの「しるし」を求めるユダヤ人たち。
2. 彼らに与えられるのは、「預言者ヨナのしるし」
  - (1) ラザロの蘇生
  - (2) イエスの復活
  - (3) 黙示録11章の2人の証人の復活
3. 異邦人はより少ない光に応答したが、ユダヤ人はそうではなかった。
  - (1) ニネベの人々
  - (2) 南の女王(シェバの女王)
4. 汚れた霊のたとえ
  - (1) 掃除された家とは、ヨハネの働きによってきれいになったユダヤ人。
  - (2) それを空き家にしていた。
  - (3) 最後は、より悪くなる。紀元70年から現在に至る離散の状況。

### V. イエスの家族 (8合目)

1. 心配する家族
2. イエスの回答
  - (1) パリサイ派の神学の否定。肉体的つながりは、意味を持たない。
  - (2) 霊的新生こそ、神の国の家族となる方法である。

3. ポリシーの変更(神の国のプログラムの変更)

- (1) 民衆から12使徒へ
- (2) 民衆の前での奇蹟(信仰は問われない)から、私的な奇蹟(信仰が問われる)へ。
- (3) メシアであることを言い広めることから、沈黙へ。
- (4) 明瞭な教えから、たとえ話へ。

**結論**

1. イエスの公生涯の頂上で起こったことが、今も影響を与えている。
2. 私が行った決断が、家族にも影響を与えている(母は天国に行く)。
3. 神からの呼びかけ  
「それとも、神の慈愛があなたを悔い改めに導くことも知らなくて、その豊かな慈愛と忍耐と寛容とを軽んじているのですか」(ローマ2:4)  
「神は言われます。『わたしは、恵みの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた』。確かに、今は恵みの時、今は救いの日です」(Ⅱコリント6:2)